

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第267号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月6日 16時50分ごろ	
発生場所	愛知県衣浦港 衣浦港中央ふ頭灯台から真方位189° 1,390m付近 (概位 北緯34° 51.7′ 東経136° 57.6′)	
事故等調査の経過	平成21年10月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{わかたけ} 若武丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	133921、貞富海運有限公司	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底外板擦過傷、プロペラ曲欠損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、衣浦港の4号地にある伊藤忠専用岸壁において、メイズ約1,500トン積み込み、船首約3.33m、船尾約4.40mの喫水で後進しながら離岸中、平成21年4月6日16時50分ごろ、船尾方約50m先の水面下に捨て石を認め、急いで前進をかけたが、水面下約0.8mの捨て石に乗り揚げた。</p> <p>その後本船は、引き船に引き下ろされ、機関の異状、浸水、漏油等がなかったため、そのまま出港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約8m/s、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約176cm</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、衣浦港において後進しながら離岸中、船尾方の適切な見張りを行わなかったため、船尾方にある水中の捨て石に気付くのが遅れて同捨て石に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、衣浦港において、本船が後進しながら離岸する際、船尾方の適切な見張りを行わなかったため、水中の捨て石に気付くのが遅れて乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	